



こんにちは

2025年10月5日 NO. 551

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。

LGBTQ、包括的性教育、緊急避妊薬など

ジェンダー平等を前へ

ジェンダー平等推進条例を持つ品川区、様々な取り組みが行われていますが、もっと前に進めるため、共産党が9月議会会で質問。性の多様性を尊重しあう社会へ、包括的性教育の実施、望まぬ妊娠を避けるための緊急避妊薬の周知啓発を求めました。早速、包括的性教育で実績豊富なピルコンによる講座が実現です。

LGBTQの理解促進を

が示されました。

7月30日、私は石田区議と共に、人権・ジェンダー平等推進課主催の「LGBTQ理解促進」の講座に参加。講師はジョ

が無理解や偏見等が多くの子供たちが生きづらさを抱え、自ら命を絶つことまで考えるまでに追い詰められています。

ブレインポアの星賢人さん、当事者です。まず初めに、LGBTQが1200万人、10人に1人、それは佐藤、鈴木、高橋、田中、伊藤、渡辺、山本、中村、小林を合わせた数と同じとの説明に衝撃を受けました。これらの名前の人はすべて何人もの顔が浮かびます。それだけ多くの人が自分のありのままを出せずに生きづらさを抱えていることが語られました。

Q：教職員へのLGBTQに特化した研修、小中学生に対する授業や講座、校内にLGBTQ+のポスター掲示などを求めました。（裏面に続く）

LGBTQ支援団体のリビットによる小中高生への調査結果も示されました。LGBTQに気づくのが12〜13歳。10代の当事者が「この二年で経験したこと」で、自殺念慮48%、自殺未遂14%、自傷行為38%。全国自殺意識調査と比較すると、自殺念慮は3.8倍、自殺未遂は4.1倍と深刻です。また、91.6%が保護者に相談できないと答え、相談できる場がないこと

おうちで伝える性のおはなし

10/31(金) 18:30~20:30

先着120名(会場20人+オンライン100人)
会場：ジェンダー平等推進センター会議室

講師 **染谷明日香**さん
NPO法人ピルコン理事長
主催：品川区人権・ジェンダー平等推進課



「ピルコン」を講師に 包括的性教育を

NPO法人ピルコンは、品川区の「ユースヘルスケアしながわほけんしつ」を受託。開設から半年で、子どもたちからLINEのチャットを含めた利用は4000件で、心の相談や人間関係、性欲に関する事、恋愛について、中には自殺念慮などの相談もあるとのこと。

ピルコンは、包括的性教育の普及を目指し、小中高生や保護者等に講演などを行い、子どもに正しい性知識を、大人に性の伝え方を学ぶ機会を提供している実績豊かな法人です。

Q:「しながわでもピルコンを講師に招き、広く区民を対象にした包括的性教育の学習会の開催と、小中学校でもピルコンを講師に包括的性教育の実施を」と求めました。

A:「リプロダクティブヘルス・ライツ講座でピルコンと連携して「おうちで伝える性のおはなし」を実施する(表面に案内)。学校では、養護教諭研修会でピルコンを講師に研修する。学

校の要望で専門家を派遣するよう取り組みを強化する。

緊急避妊薬が薬局で購入 可となる発信を

人工妊娠中絶が12万6734件。特に若い世代で前年度より増えており胸が痛みます(左表)。

来年、やっと緊急避妊薬が、医師の処方箋なしで薬局で研修を受けた薬剤師から購入できるようになります。望まぬ妊娠を避けるためにも緊急避妊薬の使用法や効果について、区として発信するよう求めました。

2023年度の人口妊娠中絶件数

総数12万6734件で前年度より4009件増加。
20歳未満で1万53件・484件増、15歳未満で153件。34歳まで全ての年代で増えています。

	23年度件数	増減数
総数	126,734	4,009
20歳未満	10,053	484
15歳未満	153	6
15歳	301	45
16歳	807	74
17歳	1,444	73
18歳	2,641	199
19歳	4,707	87
20～24歳	32,547	2,003
25～29歳	27,879	1,729
30～34歳	22,600	313
35～39歳	21,379	△568
40～44歳	11,170	91
45～49歳	1,073	△54

「品川区ジェンダー平等と性の多様性を尊重しあう社会を実現するための計画(素案)」の パブリックコメントに意見を!

パブリックコメントの実施

- 期間：10月11日～11月10日まで
- 広報しながわ10月11号、区ホームページに掲載
- 閲覧場所：ジェンダー平等推進センター、区政資料コーナー、地域センター

第5次行動計画から新たに追加した項目

- ①ジェンダー主流化体制の推進
- ②困難な問題を抱える女性への支援
- ③性の多様性に関する相談体制の整備・支援
- ④リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の啓発

無料 法律・生活相談会

10月24日(金)午後5:30～

鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7 ☎3783-8833 ☎5742-6818 (控室)

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。